

【別紙様式】

令和5年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
36	加茂高等学校（全日制）

学校教育目標	「文武両道」の校風を生かして、「高い学力」「健康でたくましい心身」「豊かな人間性」を備え、自立した生徒を育成する		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グレート・エデュケーション・ポリシー（GP）	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー（CP）	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー（AP）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の個性や適性に合った目標を定め、最後まで粘り強く挑戦できる生徒</li> <li>様々な課題を発見し、他者と協力しながら、主体的に課題解決に向けて取り組める生徒</li> <li>人と繋がる力を養い、多様な価値観を理解して、将来、地域社会でリーダーとして活躍できる生徒</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「自律した学習者」となれるよう、個に応じた適切な支援を行いながら、進路目標の実現に向けて意欲的に学習できるよう、3年間を見通したキャリア教育を推進</li> <li>基礎・基本から深い学びまでを視野に入れて授業を組み立てるとともに、科学的な探究心や知的好奇心を喚起し、地域と協働して地域社会に向けて発信できるような課題解決型の学習を推進</li> <li>様々な学校行事、部活動、ボランティア活動等、互いに協力しながら一人一人が活躍できる場面を通じて、コミュニケーション能力や社会性を養えるよう、3年間を見通した計画的な活動を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な学びに自ら取り組み、自分の可能性に挑戦し、将来の目標を実現しようという意欲のある生徒</li> <li>学校行事や部活動等の活動に積極的に参加し、充実した学校生活を築いていこうという意欲のある生徒</li> <li>社会と積極的に関わりをもち、一人一人の個性を尊重しながら相手を思いやり、協働して物事を進めようという意欲のある生徒</li> </ul>
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な主な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1. 学力の向上と進路希望の実現を目指します。	<p>①地域の進学校として生徒の学力向上を図るため、タブレット活用（ICT利用） ・校内研修・授業公開・授業アンケートなどとおして授業改善に努め、生徒が主体的に取り組める、わかる授業を展開します。</p> <p>②家庭学習習慣を身に付け、「自律した学習者」となれるように、個人懇談や「手帳の活用」をとおして、段階的できめ細やかな指導を行います。</p> <p>③一人一人が夢をもち、進路目標の実現に向けて意欲をもって学習できるように、3年間を見通したキャリア教育を実施します。</p>		<p>①生徒の授業評価に基づいた教員の授業改善を図る。</p> <p>②家庭学習時間や学習への取組状況を向上させる。効果的な家庭学習の指示や支援と個別懇談の充実を図る。</p> <p>③充実したキャリア教育を実施する。また、それらの取組に系統的なつながりをもたせる。</p>
2. 他と協働して主体的に課題解決に取り組む姿勢を育成します。	<p>①科学的な探究心や知的好奇心を喚起できるように、総合的な探究の時間や理数科の課題研究の充実を図ります。</p> <p>②他者と協力して主体的に課題解決に取り組む姿勢が身につくように、地域と連携した地域課題研究や探究活動、ホームルーム活動、学校行事等を実施します。</p> <p>③生徒会活動を活発にし、自主自律の精神で生徒自らが考え積極的に学校行事やその他の自主的な活動に参加できるよう支援します。</p>		<p>①総合的な探究の時間や課題研究は適切な目標設定のもと主体的に協働して取り組む姿勢を身につけさせる。</p> <p>②地域と連携した活動を充実させるとともに学校祭等の行事においては生徒会を中心に学年やクラス等の集団で協力して取り組ませる。</p> <p>③生徒の自主性を重んじ、生徒会活動の活性化と学校生活について自ら考える姿勢の育成を図る。</p>

<p>教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)</p>	<p>重点目標の達成に必要な主な具体的取組、方策</p>	<p>達成度の判断、判定基準あるいは評価指標</p>
<p>3. 幅広いものの見方や奉仕の精神、健康でたくましい心身、規律ある生活態度を育成します。</p>	<p>①広い視野と豊かな教養を培うため、外部人材による各種の講話や読書指導等を実施します。 ②心身の健康管理を自分で適切に行うことができるように、日々の生徒観察をはじめ、適切な保健指導、教育相談を行います。 ③部活動をとおして心身の育成と社会性を養うことができるよう、3年間を見通した計画的な活動を実施します。 ④規律ある高校生活と社会の一員としてのマナーを身に付けられるような生徒指導を推進します。</p>	<p>①各種講話や朝読書等の生徒及び教員対象アンケートの数値的評価を行い、取組み状況を改善させる。 ②検診の結果に基づく早期受診指導を行う。遅刻者や欠席者、傷病による保健室への来室者を減少させる。 ③部活動加入率の割合及び部活動の成績を向上させる。 ④安全な登下校と挨拶の励行、身だしなみを整えさせる。</p>
<p>4. 働き方改革に努め、社会に開かれた信頼される学校づくりを推進します。</p>	<p>①授業の公開やPTA活動の充実をとおして、本校の教育活動が保護者や地域の方々にさらに理解されるように努めます。 ②ホームページを絶えず更新するなど、リアルタイムに情報を発信することで本校の良さを地域や中学校へ積極的にPRできるように、広報活動の充実を図ります。 ③勤務時間を意識した働き方を推進し、業務内容の不断の見直しを図ります。</p>	<p>①必要な情報を迅速に分かりやすい形で発信する。また、地域住民の方へのアピールを行う。 ②ホームページのアクセス数を増やす。生徒の出身中学校との連携を密にした情報交換を行う。 ③業務の効率化を図るとともに教員の時間外在校等時間を減らし、職員の月残業時間を45時間以内にする。</p>